

2019.10.18 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位

立命館大学広報課

国際シンポジウム

「アフガニスタンの過去、現在、未来～持続可能な平和を目指して～」開催

日時：2019年10月25日（金）13:00～18:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1F カンファレンスルーム

立命館大学国際地域研究所は、10月25日（金）に、国際関係学部・研究科および独立行政法人国際協力機構（JICA）と共催で、国際シンポジウム「アフガニスタンの過去、現在、未来～持続可能な平和を目指して」を開催いたします。

2019年は、アフガニスタンの独立100周年にあたります。2001年の同時多発テロ後に有志連合によって行われた攻撃によってタリバーン政権が崩壊して以降、アフガニスタンでは混乱が続いているというイメージが広がっています。しかし、アフガニスタンは、様々な困難を抱えつつも、9月28日に大統領選挙を実施し、今まさに未来に向けて動き出そうとしています。

本シンポジウムでは、アフガニスタンにおける国家建設・平和構築に携わってきたアフガニスタン、国連、JICAの関係者およびアフガニスタン研究の第一人者が一堂に会し、各々の立場でアフガニスタンの実情を踏まえつつ、持続可能な平和のために、何が必要かを討論します。

第一部では、アフガニスタンの未来を担うと期待されているアデラ・ラーズ国連アフガニスタン常任代表と山本忠通アフガニスタン担当国連事務総長特別代表及び国連アフガニスタン支援ミッション代表のお二人から、基調講演をいただきます。それを受けて、第二部では、アフガニスタン工学・建築設計機構長官、国連アフガニスタン支援ミッション代表・特別補佐官、及びJICA南アジア部長から、アフガニスタンの復興・平和構築の実情についてお話し頂き、中東地域研究に長年携わっておられる内藤正典同志社大学教授による現状分析を伺います。その後、アフガニスタンの未来についてパネルディスカッションを行います。

このシンポジウムを通じて、アフガニスタンにおける持続可能な平和を構築していくために、日本にできる支援について議論を深めていきたいと考えています。

記

日時：2019年10月25日（金）13:00～18:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1F カンファレンスルーム

内容：別紙スケジュールをご覧ください

使用言語：日本語、英語（セッション1・2同時通訳あり）

入場料：無料 ※事前申し込み不要 [定員150名]

共催：立命館大学国際地域研究所、立命館大学国際関係学部・研究科

独立行政法人国際協力機構（JICA）、

後援：外務省、駐日アフガニスタン大使館、立命館大学中東・イスラーム研究センター

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際地域研究所事務局 担当：西村・志賀

TEL.075-466-3335 <http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

別紙

スケジュール ※敬称略

[セッション 1] 基調講演(開始予定 13:00)

アデラ・ラーズ(国連アフガニスタン常任代表)

山本忠通(アフガニスタン担当国連事務総長特別代表及び
国連アフガニスタン支援ミッション代表)

[セッション 2] パネルディスカッション(開始予定 14:40)

「復興開発と平和構築」

嶋田晴行(モデレーター、立命館大学国際関係学部教授)

サハール・ハムダード(パネリスト、アフガニスタン工学・建築設計機構長官)

原昌平(パネリスト、JICA 南アジア部長)

内藤正典(パネリスト、同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授)

水田慎一(パネリスト、国連アフガニスタン支援ミッション代表・特別補佐官)

[セッション 3] プレゼンテーション(開始予定 16:30) ※英語のみ

「アフガニスタンへの扉」

JICA ピース留学生(アフガニスタン人留学生)によるアフガニスタン文化の紹介

総合司会: 足立 研幾(立命館大学国際地域研究所所長、立命館大学国際関係学部教授)